

「三次市子どもの未来応援宣言(案)」に関するご意見とそれに対する三次市の考え方

平成29年12月5日

部署名:政策部企画調整担当

「三次市子どもの未来応援宣言(案)」について、平成29年11月1日から11月20日まで三次市のホームページ等を通じて意見を募集したところ、2通(延べ6件)のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見と、それらに対する三次市の考え方について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告します。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見のうち、同趣旨のものは適宜集約し、また、パブリックコメントの対象となる事項についてのみ考え方を示させていただきます。

今回、ご意見をお寄せいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

番号	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
1	プロジェクトの提案について 「子どもたちの夢が集まり、叶う町、三次プロジェクト」のご提案。	1件	具体的な今後の取組については、庁内ワーキンググループにて検討して参りますので、その際の参考とさせていただきます。
2	今後の取組について 宣言をする以上、丁寧な取組をお願いします。	1件	
3	宣言の趣旨について 「三次市子どもの未来応援宣言」は子どもの人口が少なくなっている今、重要なことと思います。子どもたちを応援していくことの趣旨に賛同します。	1件	案文に賛成の意見として承りました。
4	「体験機会」の表記について 「実感の持てる多様な体験機会を提供することができます。」という表現は「体験の機会」という表現の方が丁寧で良いと考えます。	1件	ご意見を受け「実感の持てる多様な体験の機会を提供できます。」と案文を変更しました。

番号	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
5	「貧困, 虐待, いじめ, 発達支援などへの取組と継続支援」の表記について 貧困, 虐待, いじめ, 発達支援が同等になっているように感じます。ここでは, 「子どもへの貧困, 虐待, いじめをなくす取組と発達支援を進める取組」という表現の方が良いと考えます。	1 件	「貧困, 虐待, いじめ, 発達支援など」の表記は取組の姿勢ではなく, 社会からの支援を要する子どもたちに対する取組で留意すべき課題を列挙しています。 また, 「など」と表記することで, その他の課題に対する支援にも取り組むことを示しています。 市民会議の協議を踏まえ, 案文のとおりとします。
6	三次市で育つ子どもたちの就職・結婚について 高校や大学に行って何人が返ってくるのか, また, 就職し結婚するのか知りたいです。	1 件	三次市で育った子どものUターン率などの数値は持ち合わせていません。 ただし, 人口動態については, 住民基本台帳や国勢調査などを活用し把握しています。

<連絡先>

部署名:三次市政策部企画調整担当

住所: 三次市十日市中二丁目8番1号

電話:0824-62-6115

ファックス:0824-62-6137

電子メール:kikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp